

2019年8月9日

各位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証マザーズ
問合せ先 執行役最高財務責任者 前川 裕貴
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

窪田製薬ディープスペースミッション眼科装置開発 第一回会議をNASA施設内にて実施

窪田製薬ホールディングス株式会社（以下、「当社」）は、アメリカ航空宇宙局 National Aeronautics and Space Administration（米国、以下「NASA」）との第一回会議を実施いたしましたことをお知らせいたします。

本会議は、有人火星探査に携行可能な超小型眼科診断装置（以下、SS-OCT）の開発について、進捗の報告と今後の開発計画について議論してまいりました。尚、2019年3月に、日本人で初めて、NASAの眼科装置開発における Principal Investigator（研究代表者）に任命されてから、今回が第一回目の会議となります。



【会議参加者】

窪田製薬代表執行役会長、社長兼最高経営責任者 窪田良博士
NASA Sans チーム

Translational Research Institute for Space Health (TRISH) 代表者
Web Vision Technologies 代表者

【会議の内容】

- 1) 現状の確認(フェーズ1の開発状況)
- * SS-OCT の仕様の確認



- * プロジェクトの進捗状況に関する最新情報の提供
- * 今後の課題と、想定される結果の確認

2) フェーズ1の最終計画の確認

- * テスト計画
- * フェーズ1開発の最終段階についての議論

3) ロケットに搭載可能になるまでの計画の確認

- * 当社の構想を提示
- * NASAがSS-OCTに期待する項目の確認
- * 必要リソースの確認



◆NASA担当者からのコメント

今朝のキックオフミーティングではとても良い感触を得ました。この開発に携わるアクセラチームを始め、Web Vision Technology 担当者である Bob Main 氏、バイオメディカルエンジニア、臨床医、神経学者などの開発に必要な人材が集まり、OCTの開発にについて必要な仕様条件を話し合う、とても有意義な議論がされたと思います。

◆窪田製薬代表執行役会長、社長兼最高経営責任者 窪田良博士コメント

今回の会議では、当社で開発を進めているSS-OCTの情報を更新いたしました。NASAからの当社に対する信頼の高さ、プロジェクトの重要度を再確認するとともに、半年間の成果に対しても高評価をいただく会議となりました。今回の議論を学びとし、宇宙飛行可能なデバイスを作る為により一層精進してまいります。



以上

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社 100%子会社のアキュセラ・インク(米国)が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」において糖尿病網膜症およびスターガルト病への適応を目指し研究を進めております。また、白内障や老視(老眼)の薬物治療を目的とした低分子化合物の研究開発、そして網膜色素変性における視機能再生を目指す遺伝子療法の実施しております。同時に、糖尿病黄斑浮腫、ウェット型加齢黄斑変性など血管新生を伴う疾患の治療を目指し、生物模倣技術を用いた低分子化合物の研究開発も進めております。在宅・遠隔医療分野(モバイルヘルス)では、PBOS などクラウドを使った医療モニタリングデバイスの研究開発も手掛けております。

(ホームページアドレス：<http://www.kubotaholdings.co.jp>)

Translational Research Institute for Space Healthについて

NASAの人間研究プログラム(Human Research Program:宇宙飛行士がミッションを遂行するにあたっての健康管理に関するプログラム)では、火星への飛行を含め、長期にわたる宇宙探査ミッションにおける人体への健康リスクを軽減する革新的なアプローチを研究開発する外部の組織との連携により行われています。これらのパートナーシップの一つが、宇宙医学・宇宙での健康管理のための技術を研究開発するトランスレーショナルリサーチインスティテュート(The Translational Research Institute for Space Health:TRISH)で、ベイラー医科大学(ヒューストン市)を中心とし、カリフォルニア工科大学(パサデナ市)とマサチューセッツ工科大学(ケンブリッジ市)が参画するコンソーシアムが組まれています。TRISHのミッションは、国家的努力として地球上の最先端の生物医学の研究と技術開発を、有人宇宙探査における宇宙飛行中の人体への健康リスクを軽減する戦略に応用することです。

詳しくは、NASAのウェブサイトをご参照ください。<https://www.nasa.gov/hrp/tri>



免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定(一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません)に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。